

学校関係者評価委員会での意見交換

日時;令和6年11月22日(金)19:00~20:00

内容;

参加者を2~3名の小グループになっていただき、各グループにファシリテーターを1名配置し、話し合いを実施する。

議題は、学校の現状報告を受け「あさくら看護学校に思うこと、期待すること」などを自由に話し合っていた。 (時間;19:35~19:50)

A グループ	<ul style="list-style-type: none">・全国的な学生数の減少は否めない。その中で生徒や保護者へのアピールは大切だと考える・アピールとして、地域活動は有効だと考える・1年生の授業が、詰め込みになりがちであるが、「知っている」だけではだめで「使える知識」になっていくことが大切だと考える・あさくら看護学校は、他看護学校と比べても学費が安く、国家試験合格率も高い。これらのことをもっと広報していった方がよいのではないかと思う
B グループ	<ul style="list-style-type: none">・理念を実践するためにも、教職員の不足は教育に大きく影響する可能性がある・メンタルヘルスケアが重要である・指導については、昨今は受け手のとり方に大きく左右されることがある。共に育つためにもフィードバックの必要性があると考え・実習で、家族への指導のあり方なども今後は大切になっていくと考える
C グループ	<ul style="list-style-type: none">・意見をきくための用紙のカテゴリーが難しい・卒業してから改めて感じる事だが 実習施設が多い 国家試験対策が手厚い これは、学校として強みではないかと考える

短期間ではありましたが、学校関係者評価委員の皆様全員が本校の現在、将来に対して真剣に話し合いを行っていただいたことに感謝申し上げます。

令和6年度は、様々な新しい教育的な試みを行っております。学校関係者評価委員の皆様のご意見のいくつかは令和6年度の教育実践としてご報告させていただきます。また、いくつかのご意見に関しては今後検討させていただきより良い教育実践のために活用させていただく予定です。

